

Weekly Bulletin 2019-2020



RI会長

マーク・ダニエル・マローニー



ロータリーは
世界をつなぐ

静岡東ロータリークラブ

会長／新聞桂子 幹事／森下登志美

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30～13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長

新聞桂子

第 2937 回合同例会

令和 2 年 2 月 13 日 天候 晴れ

《司 会》 杉山 輝光 君

《合 唱》 「君が代」「奉仕の理想」

《BGM》 「ハンデル 合奏協奏曲集 作品 6」より
第 1 番、第 2 番、第 3 番、第 4 番

《ゲスト》 第 2620 地区パストガバナー諮問委員会委員
井上 雅雄 君(甲府南 RC)

《ビジター》 静岡 RC 寺戸 常剛 君

《ソングリーダー》

大村 幸代 君

私たち静岡東ロータリーのソングリーダーは輪番制となっております、指揮が得意な人にも、そうでない人にも、なんの付度もなく順番が回ってきます。先週は近江会員、来週は大村会員ということで、今週は私が頑張らせて頂きます。



《会長挨拶要旨》

新聞 桂子 会長

皆様こんにちは、今期静岡東ロータリークラブの会長を務めさせていただいております、新聞でございます。今日は静岡北ロータリークラブ、静岡日本平ロータリークラブ、静岡東ロータリークラブ 3 クラブ合同の例会です。



ロータリーの分区が第 4 分区から第 3 グループに変わってから 3 年目になると思いますが、それまで市内 12 クラブが第 4 分区と第 5 分区に分かれていたため

行われていた静岡市合併以前の旧市内 7 クラブ合同例会がなくなりました。

昨年、当静岡東クラブのクラブフォーラムでメイクアップについて話し合う機会がありましたが、他クラブを訪問してのメイクアップをしたことのある会員に挙手してもらったところ、ベテランの会員を除いてほとんど他クラブを訪れた経験がなく、知り合いもない他クラブにメイクアップに行くハードルの高さを感じました。

ロータリーの魅力の一つは人との出会いだと思います。仕事ばかりでなく、趣味や奉仕活動を通じて人柄に触れ親しくなり、親世代のお付き合いが子どもの世代まで続くような出会いもあります。そんな出会いをしっかり受け止められる自分を育てる機会でもあるのではないのでしょうか？

ロータリーの将来のために会員増強するのも大切なことですが、今、在籍しているロータリアンと所属クラブに限らず知り合う機会になればいいなど、まず、メイクアップに行ってみようと思えるような他クラブとの交流の機会を設け、手始めに例会場をここアソシアに置いているクラブで合同例会をし、席も 3 クラブの方々が混ざった形になっての例会を企画しました。ですが、特別な例会ではなく毎週静岡東ロータリークラブが行っている例会の進行です。隣り合った知らない方もどうぞ名刺交換だけで終わらずよい出会いとなるようお話しをしてみてください。

静岡北クラブ、静岡日本平クラブだけでなくいろいろな組み合わせで合同例会が行われた皆さんのロータリアンと知り合うきっかけに広がっていけば良いと思っています。

今日はお寒い中と思いましたが、春のような穏やかな日になり本当によかったと思っています。昨年 6 月にご縁があって当クラブを訪問して下さった折り、遠く甲府南クラブのパストガバナー井上雅雄様にご無理を言って今日の合同例会に卓話をお願いしました。数多くのロータリー経験の中から有意義なお話しをいただけるものと期待しております。どうぞよろしく願っています。

《ゲスト》

甲府南RC パストガバナー

井上 雅雄 君



2006年～2007年のガバナーを務めていました井上です。昔静岡東RCにいらっしゃった勝山さんの次のガバナーが甲府南RCの渡辺さんで、その当時(2001～2002年)に地区幹事をやっていたご縁で、静岡東RCとの付き合いは長いものとなっております。

今回は戦略計画についてお話しします。甲府南RCで戦略計画を立てるにあたり、まずは戦略思考をもってもらうことを心がけました。そして「充実している」「金がある」「楽しい」「素晴らしい」「やってみよう」の5つの言葉を基本理念に事業を組み立てました。

まず、「充実している」という言葉からは、「青少年交換事業」「創立55周年記念『舞鶴城公園整備事業』」などを重点事業としました。そして「楽しい」という言葉からは、「謡の会」「ゴルフ同好会」「茶道同好会」「以後同好会」「木粋会(若手会員による親睦会)」「カトレア会(女性会員を中心とした会)」など、様々な同好会が立ち上がりました。すべては「人間力を高める」を具現化するための活動です。

古代中国齊の名宰相・管仲(かんちゅう)の名言に、一年の計は穀を樹(う)うるに如くは莫(な)し十年の計は木を樹(う)うるに如くは莫(な)し終身の計は人を樹(う)うるに如くは莫(な)しというのがあります。これは「一年で成果を挙げようとするなら穀物を植えること、十年先を考えるなら木を植えること、終身の計を立てるなら人材を育てることに尽きる」という意味です。こういう理念のもと、甲府南RCは昨年の8月に、山梨大学のローターアクトを中心に、ボーイスカウトやガールスカウトのメンバーまで一堂に会した「青少年キャンプ」を実施しましたが、これは「青少年国際キャンポリー」事業が活かされた素晴らしいものでした。

現在の戦略計画は「過去を敬い、今を想い、未来を見据えながら」とし、「ロータリーの不易」「人間力を高める」「節目を大切に(記念事業の継続)」「変化への対応」を戦略項目に、「親睦」「高潔性」「多様性」「奉仕」「リーダーシップ」を5つの価値観として設定しています。

臨済宗に「脚根下(きゃくこんか)」という教えがあり、私はよく講演で紹介しています、これは「善は足下にある」という意味で、すなわち、「今この場で何をなすべきか」「いつもこのように自分を見ながら、人の人生をどう豊かにするか」を考えるということです。米山梅吉先生が掲げた「自分が人々にして欲しいと望ことを、あなたが人々にしなさい」という奉仕の理想に合致します。「自利・利他」の精神で共に頑張っていま

しょう。

甲府にも是非お越しください。

《合同例会の様態》



《スマイル報告》

新聞 桂子 君 長くお休みをしまい、いろいろな方にご迷惑をおかけしました。お見舞いをいただき有難うございます。全快とはいきませんが、スマイルさせていただきます。

森下 登志美君 井上パストガバナーを卓話者にお迎えしてスマイル

由利 浩志 君 井上パストガバナー、本日はお忙しい中卓話にお越しくさいます。遠路申し訳ございません。

佐野 哲一 君 花が届いて、2月10日、そうだった。互いに教えて「お疲れ様」の一言で終了。飾られた花の下、金婚式までの互いの生存可否の推測。今年も受け取れたことの意義に感謝。

(会報作成 林田 尚翁)